

万一の交通事故に備えてご加入を

交通災害共済

交通災害共済は、一人ひとりが少しずつ掛金を出し合い、不幸にして交通事故にあわれた方に見舞金を送って支え合う、県下全市町で構成している共済制度です。

◆加入いただける方

市内に住民登録または外国人登録をされている方。市内の事務所・事業所・学校などに勤務または在学されている方。

- 年間掛金…1人につき500円
 - 申込期間…平成24年2月1日～
 - 共済期間…平成24年4月1日～平成25年3月31日
- ※途中加入も可能です。

◆加入方法

各区および自治会を通じて、各世帯に加入申込書を配布します。また、市役所窓口や申込先金融機関窓口にも加入申込書を備え付けています。(振込でなく直接窓口でお申し込みください。)

◆申込窓口

- 市役所
水口庁舎内市民窓口センター、土山・甲賀大原・甲南第一・信楽地域市民センター(旧支所)地域振興課
- 金融機関(すべて甲賀市内)
滋賀銀行、関西アーバン銀行、滋賀県信用組合、甲賀農業協同組合、湖東信用金庫、滋賀県民信用組合、近畿労働金庫

◆見舞金の支給対象

共済期間内に道路で起きた車両等による事故で、通院1日目から見舞金の支給対象になります。1日通院された場合、見舞金は2万円です。(対象とならない場合もあります。)

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 生活環境課 生活交通係
☎65-0686 ☎63-4582



アフリカ・ウガンダ共和国で稲作栽培の普及に取り組む

青年海外協力隊 神山理絵さん

市では、一昨年の12月、市職員を対象に「自己啓発等休業制度」を開始しました。

このほど市職員の神山理絵さんが、初めてこの制度を利用して青年海外協力隊に参加し、アフリカのウガンダ共和国に派遣されることとなりました。

神山さんは、今年1月から2年間、村落開発普及員として稲作栽培の普及などに取り組めます。

昨年12月14日に、中嶋市長に出発前の報告をした神山さんは、「現地の人役に立ち、また、この経験を

市役所の業務でも活かせるようにしたい」と決意を述べ、市長から「ウガンダの国民の一人になりきって頑張ってください」と激励を受けました。



▲中嶋市長から激励を受ける神山さん

甲賀剣道スポーツ少年団

甲賀剣道スポーツ少年団の初稽古が1月3日、油日神社で行われ、小学2年生から6年生までの8名の豆剣士が、早朝の稽古に汗を流しました。精神の鍛錬を目的に始められたこの稽古は、今回で20回を数えます。同少年団は昨年、団体個人ともに全国大会出場を果たし、好成績を収めました。また指導者は、「剣道を通して、礼儀作法や相手を思いやる気持ちを学んでほしい」と語ります。境内には、団員の気合のこもった掛け声や竹刀の音が響き渡っていました。



▲初稽古に励む剣道スポーツ団員

気持ちを新たに初稽古に臨む



天神町所有「見送幕」「内幕」合同調査



▲「見送幕(八仙人詩文刺繍)」の調査

水口曳山祭で巡行する曳山の背面には、華やかな「見送幕」が飾り付けられます。現在16基あるうち、天神町が所有する曳山の「見送幕」と「内幕」(市指定文化財)の調査が、このほど行われました。この調査は、京都近郊の祭礼幕の調査を行っている財団法人祇園祭山鉾連合会が、日本に渡来した染織品の実態解明を進めるため、市と合同で行ったものです。同町の「見送幕」は、京都の祇園祭で使用される装飾品にも類例がなく、中国が朝鮮半島で制作された可能性があることが分かり、今後も調査検討が進められます。また、今までも一度も修理されていないため、当時の製作技法を知るうえで、大変貴重なものであるということです。

曳山の歴史をひもとく

第19回全国中学校駅伝大会・第55回日本学生科学賞最終審査

市内中学校で3部門が全国大会へ出場することになり、12月7日、市役所甲南庁舎で壮行会が行われ、それぞれの大会で好成績を収めました。山口県で12月18日に開かれた全国中学校駅伝大会へは、水口中学校男子駅伝部、甲南中学校女子駅伝部が出場し、それぞれ20位、26位と健闘しました。また、日本学生科学賞最終審査へは、甲南中学校科学部が出場し、「サヤマドロはイネにとって有益か」という研究をまとめた成果が全国の上位12点に入選し、12月22日と23日に行われた東京での最終審査では環境大臣賞に輝きました。



▲市長から激励を受ける生徒

夏まつりのにぎわいを真冬に再現

しがらき冬まつり2011

信楽の冬の風物詩「しがらき冬まつり」が12月17日、信楽地域市民センター横の特設会場で開催され、多くの方でにぎわいました。

この催しは、信楽の厳しい寒さの中でも、楽しいことがあればみんなが集うと「夏の納涼祭をそのまま冬に」というコンセプトで始まったものです。

会場がイルミネーションの光に包まれる中、名物のかき氷や金魚すくい、射的などの模擬店のほか、和太鼓の演奏などのステージが会場を盛り上げ、最後は澄んだ夜空を花火が彩りました。

来場者は、指先が凍えるほどの寒さの中、かき氷に挑戦したり、温かいぜんざいに舌鼓を打ったり、真冬のおまつりを満喫しました。



▲寒さを忘れ金魚すくいに熱中